

令和2年度 中海・央道湖・大山圏域市長会事業方針（案）

令和2年度は、新たに策定した第2期地方版総合戦略に基づき、この圏域が東アジアのゲートウェイとして日本海側の一大拠点となるよう、産学・医工連携の推進による新産業の創出、インドとの経済交流の拡大、新たな台湾との交流、インバウンド観光の推進などグローバルな動きを具現化していく。

また、インフラ整備促進に向けた取組や恵まれた生活環境を生かした移住・定住等の促進を図るなど、“住みたくなる圏域”を実現するために、戦略に掲げる『3本の柱』を軸に圏域の強固な連携のもと事業を展開していく。

第2期地方版総合戦略のテーマ 住みたくなる圏域づくり

① 国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成

- 産学・医工連携事業の活性化
- インド（ケララ州）、台湾（台北市）等との経済交流の活性化
- 国内外観光客の誘客及び消費拡大
- 外国人観光客の受入体制整備の促進

② 未来をひらく交通ネットワークの形成

- 圏域内インフラの整備促進に関する要望
・新幹線整備、港湾整備、8の字ルート等

③ 恵まれた生活環境を生かした圏域の形成

- 文化・自然環境保全と活用
- 圏域への移住・定住等の促進

1. 国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成について

力強い産業圏域の形成には、圏域の特性を生かした競争力のある産業の発展が必要になります。産学・医工連携事業では、これまでに大学医学部附属病院を中心に多くのニーズを収集しており、その実用化に向けて、引き続きマッチング支援、開発支援、販路開拓支援などを展開し、全国や世界を相手にできる新産業の創出を目指します。

また、インド（ケララ州）との経済交流事業として、IT等の人材の圏域内企業への就職や日印企業の業務提携等に繋げる取組を継続的に展開するとともに、販路拡大を目指しインドでの見本市等へ圏域内企業と参加いたします。また、新たに台湾との各種交流拡大のため、まずは台北市と多方面での交流の活性化を図ります。

さらには、ビジネスマッチングや山陰いいものマルシェを開催し、販路拡大や業務提携等に繋げる取組により力強い産業圏域を形成し、日本海側の重要な戦略拠点として国内外へ発信します。

観光分野においては、地域一体の観光地域づくりを目指し、昨年設立した（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局を通じて、山陰インバウンド機構など観光関係団体と、連携・調整しながら、国内外へプロモーション事業を展開します。特にインバウンドについては、オリ・パラ2020や大阪万博2025による訪日外国人の増加を見込み、ターゲット国としている台湾及び中国地方5県に直行便のある国々のほか、新たに結ばれた上海に向けたプロモーションを強化し、多彩な観光素材が集中し、山陰観光のゲートウェイであるこの圏域に外国人観光客を誘客し、山陰全体に波及させます。

また、外国人観光客を受け入れることのできる環境を整備します。観光案内所ネットワーク化を推進するとともに、キャッシュレス化の推進や免税店登録の拡大、二次交通の充実などについて、業種別連絡会（飲食・物販・宿泊・交通）を通じて取り組み、外国人観光客の満足度を高め、圏域への誘客及び消費拡大を目指します。

2. 未来をひらく交通ネットワークの形成について

圏域の産業・観光振興を図るうえで、圏域内外を結ぶ交通ネットワークの充実が不可欠です。特に、新幹線や高速道路等の基幹的な社会基盤整備が遅れている中で、昨年設立された中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議等の関係団体と連携しながら、中国横断新幹線（伯備新幹線）及び山陰新幹線の整備計画路線への格上げに向けた国への働きかけを行います。

また、2つの湖を介する8の字ルート（境港出雲道路、境港米子道路、中海架橋、米子道及び山陰道の4車線化）、重要港湾境港などの整備促進に向けて関係機関への働きかけを強化します。

3. 恵まれた生活環境を生かした圏域の形成について

この圏域は豊かな自然や神話の時代から連綿と続く歴史・文化、豊富な観光資源、さらには、特色ある産業、医療、福祉施設が集積しており、充実した都市機能をあわせ持っています。一方で昨今、人口減少と少子高齢化が進行する中、将来にわたり活力にあふれる圏域を維持していくためには、こうした特性や資源といった圏域の優位性を生かしながら、人の交流や移住・定住を促進する必要があります。中海・宍道湖・大山など、圏域が有する自然環境を活用し、交流人口の拡大を図るとともに、婚活事業の実施や島根大学との連携による人材育成を通じて圏域への定着のための取組を行います。また、東京大学地域未来社会連携研究機構との包括協定に基づき、地域課題解決の提案に向けた研究・体験活動の場として学生を受け入れ、地域住民との交流を通して関係人口の創出を図ります。

令和2年度 地方版総合戦略 事業一覧

地方創生の実現

～県境を越えた「広域連携」による、住みたくなる圏域づくり～

◆地方版総合戦略事業

☆：交付金事業（単位：千円）

1. 国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成

事業名	予算額	財源内訳			
		国・県支出金	補助金	その他	一般財源
定期貨客船航路就航支援補助金 特別会計	15,600				15,600
圏域内企業情報データベースの充実、 圏域内企業のビジネスマッチング	8,500			5,000	3,500
☆ 産学・医工連携事業 推進交付金	18,200	9,100			9,100
ロシアへの販路拡大支援事業					0
海外商談会参加等支援事業	1,500				1,500
☆ インドとの経済交流事業 推進交付金	16,620	3,898			12,722
台湾との経済交流事業	3,250				3,250
山陰いいものマルシェプロジェクト	7,500				7,500
クルーズ客船寄港時のおもてなし	5,000				5,000
☆ 圏域インバウンドプロモーション 推進交付金	12,605	4,900			7,705
国内観光プロモーション	2,000				2,000
☆ 三大都市圏等への圏域PRプロジェクト 推進交付金	14,125	1,225			12,900
観光客受け入れ体制の充実	10,251				10,251
小 計	115,151	19,123		5,000	91,028

2. 未来をひらく交通ネットワークの形成

事業名	予算額	財源内訳			
		国・県支出金	補助金	その他	一般財源
圏域内の連携・交流推進(要望活動外)	3,570				3,570

3. 恵まれた生活環境を生かした圏域の形成

事業名	予算額	財源内訳			
		国・県支出金	補助金	その他	一般財源
自然環境学習	800				800
自然環境の保全・活用にかかる広報啓発	1,000				1,000
防災対策の充実	500				500
人材育成の共同化	1,200				1,200
文化・スポーツ交流促進事業	3,500				3,500
中海・宍道湖レガッタ開催支援事業	200				200
移住・定住等促進事業 県補助金	3,430	400			3,030
小 計	10,630				10,630

4. その他事業

事業名	予算額	財源内訳			
		国・県支出金	補助金	その他	一般財源
圏域内外へのエリアプロモーション	302				302
圏域内の連携・交流推進(連携)	240				240
圏域情報活用推進事業					0
事務局運営費 外	24,707			16,000	8,707
小 計	25,249			16,000	9,249

一般会計 合計	139,000	(対前年比107%)
特別会計 合計	15,600	(対前年比100%)